

寿苑

発行 令和4年3月1日
寿苑 49号
編集 寿苑編集委員会
発行者 高萩のぞみ大学

【公民館の目標】

- 1 明るく、きれいな公民館
- 1 愛され、親しまれる公民館
- 1 気楽に、集まれる公民館



高萩市長 大部 勝規

高萩のぞみ大学をご卒業並びにご修了される皆様、誠におめでとうございます。また、「寿苑」第四十九号の発行を心からお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より生涯学習の実践者として、自己研鑽はもとより、地域への貢献、さらには市政の発展にご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

文集「寿苑」は皆様方の思いが綴られた、一年間の活動記録であると同時に、生涯学習の拠点である中央公民館での歴史を映し出す大変貴重な資料でもあります。

昨年来、世界中に広がった新型コロナウイルス感染症の影響は、現在もなお収束しておらず、高萩のぞみ大学におきましても講座が休講になるなど活動が大きく制限された一年でありましたが、そのような中でも皆様が協力し合って学びを続けられていたことが、今回の「寿苑」に記されています。

掲載されている写真からは楽しそうに笑い声が聞こえてくるようで、拝見する私たちにも元気が伝わってまいります。

近年、社会環境の変化に伴い地域社会が抱える課題も多様化しており、それらの対応に向けて生涯学習が果たす役割は、ますます重要なものとなっています。市民の皆様が活躍できる「市民役のまちづくり」の実現には皆様がこれまで養われてきた豊富な知識や経験を、次の世代へ伝えていただくことが何より大切なことと認識しております。生涯学習は、学ぶ人の人生を豊かにするとともに社会を豊かにするものであります。皆様におかれましては、今後とも地域とつながり、生涯学習実践者のモデルとして活躍されることを期待しております。

結びに、高萩のぞみ大学のますますのご発展と、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



11月 市政を学ぶ